



ゆかり通信

令和元年 11 月発行

～ 柏崎市議会議員・近藤由香里 活動報告～



1、一般質問（9月定例会議）を行いました。

質問1、介護現場を支える人材・ツール活用策について



Q1) アクティブシニア（お元気なシニア層）、柏崎市内に住む外国出身者、介護ロボット等の技術革新を活用して、介護現場の負担軽減をはかっては？

A1) 訪問型サービスA（生活援助中心）ヘルパーとしてアクティブシニアが活躍しているが、介護現場にも広めたい。介護支援ボランティアは慎重に検討。在留外国人へのアプローチ、技術革新の活用は引き続き事業者に勧めたい。

Q2) 学校教育現場における「介護の仕事」への理解促進は？また保護者への働きかけは？

A2) 小中学校のキャリア教育の中で介護の仕事について学び、「お仕事体験塾」を通して、保護者にも介護の仕事を知っていただいている。引き続き理解促進に努めたい。



質問2、柏崎版インバウンド（訪日外国人旅行誘致）戦略について

Q1) 水球などスポーツ交流を呼び水とするインバウンドの推進状況、ゆびさし会話帳・多言語パンフレットなど媒体の活用による、柏崎市全体の訪日外国人客受け入れ態勢は？

A1) 水球をはじめとするスポーツ交流、姉妹都市・中国淮安（わいあん）市との中学生交流、台湾商談会（柏崎花火に招待）などを通して、インバウンドを推進したい。ゆびさし会話帳、多言語パンフレットは空港や市内宿泊施設に置いているが、今後も活用をはかりたい。



Q2) 今ある産業の生産現場見学を通して、人材育成、働き方、経営努力などを観光資源とする「産業観光型インバウンド」を、柏崎市でも展開していく可能性は？



A2) 柏崎市内6次産業とセットで研究する価値はあると考える。柏崎市のインバウンドはまだ成熟していないものの、提案を参考に引き続き推進したい。

2、来年度予算・主要施策を要望しました。

当選して半年、会派に属さない議員として活動してきましたが、会派無所属では予算要望ができない等の制限があることから、10月より会派「民友(みんゆう)」(相澤宗一議員・佐藤和典議員)に所属しました。



10月21日には会派として令和2年度の予算・主要施策を櫻井市長に要望しました。内容は**景気・経済対策、人口減少問題への取り組み、産業振興、子育て支援**など様々な課題を盛り込み、近藤は以下の要望を提案しました。

- 治療と仕事の両立支援を図ること。
- 柏崎市の産業を観光資源とするインバウンド(訪日外国人旅行者誘致)推進を図ること。
- 介護事業者と連携し、介護従事者の処遇改善等、さらなる人材確保施策を図ること。
- 骨髄移植ドナー提供者への助成制度を確立すること。
- 子ども達を虐待や犯罪から守り、健やかな成長を支援すること。
- 学校施設内に危険個所がないよう安全管理を徹底すること。

実現を目指して、引き続き一般質問等の議会活動をしっかり行ってまいります。

3、視察・研修に行かせていただきました。(→学んだこと)

5月【研修】「誰も置き去りにしない自治を目指す」(横浜市) →現実的な防災・減災対策

6月【研修】「治療と仕事の両立支援」(千代田区) →安心して働ける職場づくり

7月【行政視察】松阪新電力株式会社(三重県松阪市) →新エネルギー会社の具体例

MICEの業務展開(桑名市) →産業観光型インバウンド

介護支援サポーター事業、在宅医療・介護連携支援センター(京都府八幡市) →介護人材確保

10月【研修】「人生100年時代高齢社員戦力化へのアプローチ」(富山市) →アクティブシニア活躍

【調査研究】「福島イノベーション・コースト構想」(福島第一原子力発電所ほか)

→原子力発電所の将来と技術革新(ロボット、新エネルギー等)

11月【行政視察(文教厚生常任委員会)】



子ども・若者支援ここあ(東京都調布市)、ICTを活用した教育改革(埼玉県戸田市)、こども発達センター(千葉県我孫子市)、福祉まるごと相談窓口(千葉県松戸市) →最先端の教育・福祉施策

詳細は「近藤ゆかり公式サイト」にて公開しています。

今後の議会活動に反映させて、より良い柏崎を目指します。

近藤ゆかり後援会(後援会長:青木理絵)

事務所)〒945-0064 柏崎市中央町3-28

TEL)090-4534-9982 FAX)025-333-4724 メール) yurikadou@nifty.com

facebook

「近藤 由香里」<https://www.facebook.com/yukari.kondou.92>

近藤ゆかり公式サイト) <https://yurikadou.com/>

